



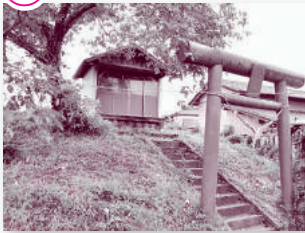
問 文化課エコミュージアム推進室 (☎72-3201)

大方町ハイキングコース

距離：約6.5km 所要時間：約2時間30分

山田川と浅川に挟まれた大方町を歩きます。スタートは北部の大方運動公園。台地上を南進し途中から西に折れ、水田地帯へ下りていきます。浅川沿いを南に向かい国道 293 号へ。いったん北上し鹿島神社周辺をひと回りして山田川方面へ進み、途中、ダイダラ坊の足跡の民話が残る川沿いを北上してゴール。台地上に残る数多くの古墳は、古代から栄えた地域の営みを感じさせます。また、南部の瀬良田地区に足を伸ばし、辻に立つ十九夜講観音などをご覧になるのもよいでしょう。

① 熊野神社



前方後円墳の後円部の頂上に建立されている。この古墳は後円部を南にして南北方向に主軸をもち、全長 26m

② 馬力神



下宿地区の馬力神。大小さまざまな石碑が集められている

③ サイフォン式水路



浅川の地下を辰ノ口用水路が通っている

④ 道標



大正 7 (1918) 年建立。「右久米村ヲ経テ太田」「左郡戸村ヲ経テ大宮」などと刻まれている

⑦ 十九夜講観音



上宿地区にある。大方町内には同様の十九夜講観音が多い。十九夜講とは別名子安講といい、安産や子どもの健康を祈る女性の集まりのこと

⑥ 聖徳太子石碑



鹿島神社の境内地に、昭和 6 年建立された。「聖徳太子一千三百十年記念」と刻まれている。昭和 6 年は磯出大祭礼の年でもあった

⑤ 鹿島神社



台地の先端部に位置し、社殿は古墳の上に建つ。古墳は直径 30m、高さ 7m ほどの円墳で、人物埴輪などが出土した